

JIS

段階スタイルシート 水準 1 (CSS1)

JIS X 4168 : 2004

(JSA)

平成 16 年 6 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	石 崎 俊	慶應義塾大学
(委員)	浅 野 正一郎	国立情報学研究所
	伊 藤 文 一	財団法人日本消費者協会
	岩 下 直 行	日本銀行
	岩 田 秀 行	日本電信電話株式会社
	大久保 彰 徳	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	笥 捷 彦	早稲田大学
	金 谷 学	総務省
	後 藤 志津雄	株式会社日立製作所
	小 町 祐 史	パナソニックコミュニケーションズ株式会社
	関 口 裕	社団法人電子情報技術産業協会
	関 根 千 佳	株式会社ユーディット
	高 森 國 臣	総務省
	成 田 博 和	富士通株式会社
	平 野 芳 行	日本電気株式会社
	伏 見 諭	社団法人情報サービス産業協会
	藤 村 是 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	宮 川 秀 眞	財団法人日本情報処理開発協会
	宮 澤 彰	国立情報学研究所
	山 本 泰	日本アイ・ビー・エム株式会社
	山 本 喜 一	慶應義塾大学
	若 井 博 雄	財団法人日本規格協会
	渡 辺 裕	早稲田大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 16.6.20

官 報 公 示：平成 16.6.21

原 案 作 成 者：財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：情報技術専門委員会 (委員長 石崎 俊)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課情報電気標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

JIS X 4168 には、次に示す附属書がある。

- 附属書 A (参考) HTML2.0 用のスタイルシート例
- 附属書 B (規定) CSS1 文法
- 附属書 C (規定) 符号化
- 附属書 D (参考) ガンマ補正
- 附属書 E (参考) CSS1 の適用可能性及び拡張可能性

原勧告の標題及びまえがきの翻訳

段階スタイルシート 水準 1 (CSS1)

W3C 勧告 1996 年 12 月 17 日, 改訂 1999 年 1 月 11 日

この規格の原規定は、W3C Recommendation 17 Dec 1996 の改訂版の W3C Recommendation 11 Jun 1999 であって、次のウェブ上で公開されている。

<http://www.w3.org/pub/WWW/TR/REC-CSS1>

原規定は、次の 2 名によって編集された。

Hakon Wium Lie (howcome@w3.org)

Bert Bos (bert@w3.org)

この規格の原規定は、W3C 勧告である。それは W3C (<http://www.w3.org/>) メンバによってレビューされ、その規定が利用に適するとの一般的合意が得られた。それは安定した文書であって、参考資料として利用したり、他の文書から引用規格として引用してもよい。W3C は、この勧告の広範囲な展開を推進する。

現在の W3C の勧告及びその他の技術文書のリストは、<http://www.w3.org/pub/WWW/TR/>で見ることができる。

この規格は、W3C による 1996 年 12 月 17 日の最初の公表 (**TR X 0011:1998** に一致) の改訂版である。この改訂版の既に明らかになっている誤り (**JIS X 4168** に反映済み) は、<http://www.w3.org/Style/CSS/Errata/REC-CSS1-19990111-errata> から入手できる。

著作権© 1996 W3C® (MIT, INRIA, 慶應) が、すべての権利を保有する。免責、商標、文書の使用、及びソフトウェアの使用許諾に関する W3C の規則を適用する。

目 次

	ページ
序文	1
0. 一般	1
0.1 適用範囲	1
0.2 定義	1
1. 基本概念	3
1.1 HTML への組込み	3
1.2 グループ化	4
1.3 継承	4
1.4 選択子としてのクラス	5
1.5 選択子としての ID	6
1.6 文脈依存選択子	6
1.7 コメント	7
2. 擬似クラス及び擬似要素	7
2.1 アンカ擬似クラス	7
2.2 表示上の擬似要素	8
2.3 'first-line' 擬似要素	8
2.4 'first-letter' 擬似要素	9
2.5 選択子中の擬似要素	11
2.6 複数擬似要素	11
3. 段階	12
3.1 'important'	12
3.2 段階順序	12
4. フォーマット化モデル	13
4.1 ブロックレベル要素	14
4.2 行内要素	19
4.3 置換要素	20
4.4 行の高さ	20
4.5 キャンバス	20
4.6 'BR' 要素	21
5. CSS1 特性	21
5.1 特性値の記法	21
5.2 フォント特性	22
5.3 カラー及び背景特性	28
5.4 テキスト特性	31
5.5 ボックス特性	34

	ページ
5.6 分類特性	43
6. 単位	45
6.1 長さの単位	45
6.2 パーセント単位	46
6.3 カラー単位	46
6.4 URL	47
7. CSS1 適合性	47
7.1 上位互換の構文解析	48
8. 引用規格及びその他の文献	51
9. CSS1 開発貢献者	52
附属書 A (参考) HTML2.0 用のスタイルシート例	53
附属書 B (規定) CSS1 文法	55
附属書 C (規定) 符号化	60
附属書 D (参考) ガンマ補正	62
附属書 E (参考) CSS1 の適用可能性及び拡張可能性	63
解 説	65

白 紙

段階スタイルシート 水準 1 (CSS1)

Cascading Style Sheets, level 1

序文 この規格は、1999年1月に World Wide Web Consortium (W3C) から公表された勧告 Cascading Style Sheets, level 1 及びそれに対する訂正票 [Errata for the CSS1 specification (revision of 11 Jan 1999)] を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格である。

0. 一般

0.1 適用範囲 この規格は、段階スタイルシート (CSS) の水準 1 (以降, CSS1) の機構を規定する。CSS1 は、簡単なスタイルシート機構であって、文書作成者及び読者が、フォント、カラー、スペースなどのスタイルを HTML 文書に付与することを可能にする。CSS1 言語は、人が読み書きでき、通常のデスクトップ出版用語によってスタイルを表記する。

CSS の基本的な特徴の一つは、スタイルシートが段階的であることにある。つまり、文書作成者は希望するスタイルシートを付与できるが、読者は、人的又は技術的ハンディキャップを調整するために個人的なスタイルシートをもってもよい。異なるスタイルシート間の競合を解決するための規則を、この規格が規定する。

この規格の原規定は、スタイルシート分野の W3C の活動によって作成された。スタイルシートの背景情報については、8.の [1] を参照されたい。

0.2 定義

0.2.1 属性 (attribute) HTML の属性を示す。

0.2.2 文書作成者 (author) HTML 文書を作成する人。

0.2.3 ブロックレベル要素 (block-level element) 前後に改行をもつ要素。例えば、HTML における 'H1'。

0.2.4 キャンバス (canvas) UA (利用者エージェント) が描画する面のその部分であって、そこに文書を可視化する。

0.2.5 子要素 (child element) SGML (8.の [5] を参照) 用語における下位要素。

0.2.6 文脈依存選択子 (contextual selector) 文書構造の中での位置に基づいて要素との一致をとる選択子。文脈依存選択子は、幾つもの単純選択子からなる。例えば、文脈依存選択子 'H1.initial B' は、二つの単純選択子 'H1.initial' 及び 'B' からなる。

0.2.7 CSS 段階スタイルシート (Cascading Style Sheets) の短縮形。

0.2.8 CSS1 段階スタイルシート水準 1 (Cascading Style Sheets, level 1) の短縮形。この規格は、ウェブ用の簡単なスタイルシート機構である CSS1 を規定する。

0.2.9 CSS1 上位機能 (CSS1 advanced features) この規格には規定されるが、CSS1 コア機能には分類されない機能。